

気仙沼市立病院 勤怠管理システム 機能要件表

【機能要件表 記載要領】

- 1. 回答欄にシステムの対応状況を記載すること。前提条件・代替案がある場合はその内容も記載すること。
- 2. 回答が「▲:有償カスタマイズ」の場合、有償カスタマイズ費用の欄に改修費用を記載すること。
- 3. 必須項目についてはすべて満たせること。(代替案含む)

○:システム標準対応または無償カスタマイズ, △:有償対応(既存パッケージあり), ▲:有償カスタマイズ, ×:機能なし

No	大項目	項目	No	機能	必須条件	回答	前提条件・代替案	有償カスタマイズ費用
1	A	基本要件	1	院内にサーバを置く必要がない、クラウドサービスであること	○			
2			2	クライアントは専用アプリやソフトウェアのインストールは不要で、かつAndroidやWindows、iOS、Macでも利用できること				
3			3	クライアントとサーバ間の通信はTLS1.2以上の暗号化通信されていること	○			
4			4	クライアントはChrome、Edge、Safariいずれのブラウザでも利用できること				
5			5	各種申請・承認が、スマホ及び個人のPC等端末から行えること	○			
6			6	ユーザは個人ごとにID,PWを持ちログインでき、任意の文字列に任意のタイミングでPW変更ができること	○			
7			7	PWは英数小文字大文字を2種類以上混在し8文字以上で設定できること				
8			8	ユーザは最終ログインから3か月以内であればID,PW入力を省略し自動ログインができること				
9			9	データ保管は災害時を想定し外部と同期、または外部保管できること	○			
10			10	必要に応じてシステム管理者でユーザPWのリセット、利用停止ができること	○			
11			11	システム管理者でもユーザのログインPWは確認不能なこと	○			
12			12	打刻確認修正、超過と研鑽および休暇申請、勤務予定と実績管理について単一システムで完結できること	○			
13	B	自動打刻	1	指定の発信機（ビーコン）を携帯しているだけで24時またぎを含む出退勤時刻の実績が自動反映ができること				
14			2	24時またぎの自動退勤は翌日24時までを最大として検知が途切れた日時を退勤とすること				
15			3	指定の発信機（ビーコン）の検知情報に基づき、超過時間中の残業、研鑽申請を仮入力できること				
16			4	指定の発信機（ビーコン）は内蔵電池が市販品で交換すれば継続利用できること				
17			5	指定の発信機（ビーコン）からサーバへの通信は個人情報を含まないこと				
18			6	指定の発信機（ビーコン）から院内中継機への通信はBLE通信であること				
19			7	院内に設置する中継機ごとに、任意のエリア名を設定できること				
20			8	中継機はPOE対応で病院保有の有線LAN、無線LANでも利用できること				
21			9	仮入力された研鑽内容は本人による任意のタイミングで理由選択し一括申請が可能なこと				
22			10	発信機（ビーコン）の未検知があった場合、その滞在理由（外出・業務・研鑽）を選択できる機能を有すること				
23			11	研鑽申請については本人によるデフォルト理由選択により、超過時間を一括申請できること				
24			12	何時から何時まで、どのエリアに、誰が滞在していたかがわかるタイムラインがユーザ単位で表示されること				
25			13	何時から何時まで、どのエリアに、誰が滞在していたかがわかる滞在データをCSVで出力できること				
26			14	宿直後に引き続き日勤をする場合は、本人が修正せずとも宿直終了時間で自動退勤と日勤の自動出勤がされること				
27			15	ICカード打刻にも対応しており、特定メーカーでなくとも打刻データの取り込みが可能なこと				
28	C	予定登録・管理	1	勤務予定を本人・所属長・システム管理者、それぞれ編集可能とするか個人別に設定可能なこと	○			
29			2	勤務予定をブラウザで閲覧可能なこと	○			

○:システム標準対応または無償カスタマイズ, △:有償対応(既存パッケージあり), ▲:有償カスタマイズ, ×:機能なし

No	大項目	項目	No	機能	必須条件	回答	前提条件・代替案	有償カスタマイズ費用
30			3	締め処理前または解除時に遡及して過去勤務予定を編集可能なこと	○			
31			4	過去勤務予定編集時は同日の申請について矛盾箇所を除きデータ保持するか、一律同日申請を解除するか設定可能なこと				
32			5	勤務予定登録は登録済の兼業予定を閲覧しながら設定可能なこと				
33			6	勤務予定を日別、月別で本人および所属長、システム管理者が設定可能なこと	○			
34			7	勤務実績を日別、月別で本人および所属長、システム管理者が確認可能なこと	○			
35			8	許可済宿直など滞在するが必ずしも勤務でない予定の登録が可能なこと	○			
36			9	許可済宿直中の業務・研鑽の未申請時間は月次締め処理時に業務外として自動一括処理を選択可能なこと				
37			10	通常労働、変形労働、裁量労働が個人別に可能なこと				
38			11	雇用条件の曜日および1日あたりの勤務時間を入力すると毎月自動で必要所定労働時間を計算表示可能なこと				
39			12	必要所定労働時間を超える勤務予定を組めないようにシステム制御可能なこと				
40			13	必要所定労働時間を下回る勤務予定を組めないようにシステム制御可能なこと				
41			14	日勤および宿直や兼業を挟む1日複数シフトを設定可能なこと	○			
42			15	24時をまたぐ勤務予定登録ができ、打刻および残業、研鑽申請も可能なこと	○			
43			16	診療科別に月次一覧画面があり宿直およびオンコールの予定入力・編集が可能なこと				
44			17	入力および削除した宿直・オンコールは個人のシフト予定に反映されること	○			
45	D	休暇管理	1	各休暇を時間休、終日休暇として合計で30種類以上、管理者により自由に作成設定可能なこと				
46			2	時間休を何時間で1日分とするか設定可能なこと				
47			3	時間休は1時間未満の申請の切り上げ分数を設定可能なこと				
48			4	各休暇をファイル添付、テキスト入力を必須とするか設定可能なこと	○			
49			5	各休暇を有給として消化するか設定可能なこと				
50			6	雇用形態毎に利用可能な休暇を設定可能なこと				
51			7	代償休息の取得を兼ねることを選択可能にするか設定可能なこと				
52			8	休暇の取得履歴及び残日数が確認可能なこと	○			
53			9	休暇付与は画面上またはファイル取り込みによる一括付与が可能なこと				
54	E	兼業・法定外管理	1	兼業実績と院内勤務実績を合算およびそれぞれ単独で法定労働時間外を自動計算および表示できること				
55			2	法定労働時間外は自院のみ兼業含む、それぞれを部門長は部下のものを、労務管理者は全員分を閲覧および出力可能なこと	○			
56			3	法定労働時間外は登録されている予定に基づき当月予想値を自院のみ兼業含む、それぞれ自動計算および表示、出力が可能なこと	○			
57			4	兼業予定・実績を本人だけでなく所属長やシステム管理者が代行入力可能なこと	○			
58			5	兼業予定・実績と本務打刻情報が重複する場合、アラートを表示すること				
59			6	兼業先医療機関、歯科医院は厚生局公開の機関コードにより各都道府県マスタを保持していること				
60			7	兼業先医療機関、歯科医院選択時はコード保有マスタに合致する検索および選択可能でテキストの部分省略、名寄せの必要性が少ないこと				
61			8	機関コードを保有していない教育機関などテキスト入力も選択可能なこと				

○:システム標準対応または無償カスタマイズ, △:有償対応(既存パッケージあり), ▲:有償カスタマイズ, ×:機能なし

No	大項目	項目	No	機能	必須条件	回答	前提条件・代替案	有償カスタマイズ費用
62			9	兼業予定を月または週、第何週の何曜日など期限を選択し一括繰り返し登録可能なこと				
63			10	兼業予定または実績入力時に許可あり宿日直、許可なし宿日直、通常勤務を選択可能なこと				
64			11	兼業予定または実績入力時に移動時間を入力可能なこと				
65			12	兼業予定または実績入力時に兼業先の特例水準有無を選択可能なこと				
66			13	兼業予定または実績入力時に本務先指示か本人希望の兼業か選択可能なこと				
67			14	兼業予定・実績の入力はブラウザからも操作可能なこと	○			
68			15	兼業予定については複数人の予定CSVを一括登録可能なこと				
69	F	インターバル・代償休息管理	1	インターバル必要時間を全て厚労省通知のとおり自動計算可能なこと	○			
70			2	代償休息必要時間、発生日時を全て厚労省通知のとおり自動計算可能なこと	○			
71			3	予定登録時に連続勤務・インターバル有無を兼業含め許可あり宿日直、許可なし宿日直を加味して厚労省通知のとおり自動判別し登録制限可能なこと				
72			4	代償休息取得が必要となった日時、必要時間を自動計算し個人別に一覧確認可能なこと	○			
73			5	代償休息取得が必要な時間のうち、消化予定のある時間を個人別に一覧確認可能なこと	○			
74			6	代償休息取得が必要な時間のうち、消化された時間を個人別に一覧確認可能なこと	○			
75			7	代償休息取得が必要な時間のうち、消化予定のない時間を個人別に一覧確認可能なこと	○			
76			8	代償休息必要月末（発生翌月末）起算で何日前に取得予定がなければ本人・所属長・システム管理者にメール通知可能なこと				
77			9	代償休息取得は所定休日・法定休日・特定休暇取得時に兼ねることが可能なこと	○			
78			10	代償休息取得予定において残業申請をする場合、申請確認メッセージが表示されること	○			
79			11	代償休息必要時間、発生日時が将来厚労省通知により取り扱い変更となった場合、無料かつ1年以内に機能対応すること				
80			12	インターバルによる予定登録制限はシステム管理者が選択設定した職員にのみ機能すること				
81	G	データ出力・取込	1	職員の入職・退職・異動等があった場合、職員マスタをCSVのインポートで更新できること				
82			2	残業・自己研鑽の詳細データ（日付、時刻、理由）をCSVで出力できること				
83			3	休暇の取得データをCSVで出力できること				
84			4	宿直やオンコール等、手当が必要な項目について該当日と回数をCSVで出力できること				
85			5	日別、月別で法定外労働時間、法定外深夜労働時間、休日労働時間、休日深夜労働時間、遅刻回数、欠勤回数、早退回数、残業と研鑽申請の理由がCSV出力可能なこと				
86	H	アラート通知	1	月間法定労働時間外の閾値が個人ごとに設定でき、閾値と比較して8割、10割に達した際、システム内および登録メールアドレスに通知がされること				
87			2	基準日を設定でき、基準日から1年間以内に終日年休で5日以上取得していない場合、システム内および登録メールアドレスに通知がされること	○			
88			3	管理者の設定値以上超過滞在が発生しており、かつその時間分、残業および研鑽申請していない場合、システム内および登録メールアドレスに通知がされること				
89			4	外勤、兼業を日別、施設名、実績時間登録ができること				
90			5	外勤、兼業の実績時間と本務先の労働時間は別で管理できること	○			
91			6	外勤、兼業の実績時間と本務先の労働時間を合計した管理もできること	○			

○:システム標準対応または無償カスタマイズ, △:有償対応(既存パッケージあり), ▲:有償カスタマイズ, ×:機能なし

No	大項目	項目	No	機能	必須条件	回答	前提条件・代替案	有償カスタマイズ費用
92			7	外勤、兼業の実績は日別で時間と施設名をCSV出力できること	○			
93			8	前月発生の代償休息で取得未予定のものを月末起算設定日にアラート通知およびCSV出力ができること				
94			1	個人及び職位、院内の役職ごとに、使用権限が設定可能なこと				
95	I	権限管理	2	出勤簿等の閲覧のみの権限が個人別に設定可能なこと	○			
96			3	所属長による承認機能を有すること	○			
97			1	面接指導の必要アラート・予定調整・事前問診・事後報告が可能なオプションを保有していること				
98	J	医師の働き方改革対応	2	医療法25条の立入検査の勤務状況フォーマットに基づく帳票出力オプションを保有していること				
99			3	給与連携用の就業実績変換オプションを保有していること	○			
100	K	データ保全	1	システムのバックアップ機能が確立していること	○			
101			2	勤怠データを5年間保存できること	○			
102			3	セキュリティ・ウィルス対策等が採られていること	○			
103	L	付属機能	1	ユーザ間で共有できるカレンダー機能、チャットなど業務効率化が可能な機能を有していること				
104			2	病院からの一斉連絡、災害時の安否確認、病院のルール提示がシステム上で可能なこと				
105			3	地域医療機関や外部企業の営業担当の効率的なコミュニケーションのための機能を有していること				
106			4	診療ガイドラインや薬剤および副作用情報の検索、講演会や患者資材一覧など業務面でも効率化が可能な機能を有していること				
107	M	実績・納期・価格	1	県内病院での導入・運用実績があること				
108			2	特例水準取得病院での導入・運用実績があること				
109			3	システム導入前に半月～1ヵ月程度のトライアル利用が可能であること	○			
110			4	導入決定から3か月以内に上記のシステムが提供できること				
111			5	上記機能を含めた場合の参考見積額（○+△+▲該当分）				

：加点要素（高配点）

：加点要素

○	システム標準対応	0
△	有償対応	0
▲	有償カスタマイズ	0
×	対応不可	0

0